



起きて、床を取り上げて歩け

「イエスは彼に言われた。「起きて、床を取り上げて歩きなさい。」 ヨハネ 5：8

このみことばが主イエスの口から語られたのはベテスダの池のほとりでした。38年もの長い年月を病気で苦しんでいた一人の男性が癒やされる奇跡の場面です。その病気がどんな病気であったか、ここには詳しく書かれていません。おそらく、体全体が麻痺し、手足も不自由だったのかもしれませんが、聖書の欄外の4節を見るとわかりますが、当時、ベテスダの池の表面が動いたとき、最初に飛び込んだ人はどんな病気でも癒やされると信じられていました。単なる迷信だったと思います。「最初」というのと、「どんな病気」でも癒やされるということから、合理性に欠ける言い伝えであったということがうかがえます。「溺れる者わらをもつかむ」ということわざのように、多くの病人が一縷の望みをもって、そこに集まって来ていたのです。

38年もの間、苦しみの中にあつた人に主は語られます。「良くなりたいのか」と。彼は答えます。「主よ。私には、水がかき回されたとき、池の中に私を入れてくれる人がいません。行きかけると、もうほかの人が先に降りて行くのです。」その時「はい、良くなりたいです」とは言わず、良くなる理由を述べます。このことばにはあきらめ感が漂っています。もう無理だ、今までだめだった、これからは癒やされることはない。

「床」と訳されている言葉は「わらぶとん」という意味です。「ゴザ」のようなものです。主イエスは言われたのです。「あなたの心の中にある、あきらめや不安、そのような『わらぶとん』にしがみついていないで、それを取り上げて、起きて、歩きなさい。」

この男の人の苦しみは病気だけではなくありませんでした。誰も助けてくれる人がいない、寄り添ってくれる人がいない。もしかしたら、病気の苦しみより彼の心の寂しさの方が彼を苦しめていたのかもしれませんが。その日、主イエスはその人の苦しみ、痛み、悲しみを理解し、そして「起きて、床を取り上げて歩きなさい。」と言われたのです。

この「起きて」というギリシャ語 (ἐγείρω) は新約聖書では他の箇所でも使われています。主が復活する場面です。希望のない暗い墓からよみがえったときに使われています。「復活する」ということばです。「立ち上がる」という意味もあります。すなわち、「起きて=復活」ということです。

わたしはこのことばの中に希望を見いだします。日本の教会は38年どころか何十年もベテスダの池の男のように水面だけを見つめ、希望のない日々を送ってきました。「他の人が先に下りていきます。」と、この男が言うように、様々な国でリバイバルが起こったことを私たちは何度も聞いてきました。しかし、日本は難しい、リバイバルなど起きるはずがないと、知らないうちに不信仰に陥っているのではないのでしょうか。

その日本に、私たちに主は「起き上がりなさい」「立ち上がりなさい」と語られます。今は起き上がる時です。床を取り上げる時です。復活の命が日本を覆う時です。



平岡修治

リバイバルミッション
協力伝道者

2025 Goto Mission

**2025年も、あなたの町、あなたの教会に伺います！
是非あなたの町で、教会で開催ください。**

少子高齢化の波が押し寄せ教会員や教会数が激減するというキリスト教界の2030年問題は、新型コロナ感染の影響もあり、2030年を待たずして、すでに危機的な状況です。特に地方ではその傾向は顕著で、教会の存続がままならない状態といっても過言ではありません。2024年、リバイバルミッションでは、全国で150回以上の集会を開催させて頂きました。平日に人は集まらない、チラシでは人は来ない、一見当たり前のようなことを主は打破してくださり、集会に不思議なように未信者の方が集い、救いの時となりました。今再び、色づいている畑に目を向けようではありませんか。2025年もリバイバルミッションは日本の教会に仕え、福音宣教を邁進させていただきます。是非あなたの町で、あなたの教会で伝道集会を開催ください。

●Gotoミッション2025スケジュール

- ① 中国地区 / 2月19日(水)~2月24日(月・祝)
メッセージ: 田中進 ●ゲスト: 安武玄晃
- ② 北陸地区 / 3月5日(水)~3月9日(日)
メッセージ: 滝元順 ●ゲスト: チェ・ヨンドウ
- ③ 甲信越地区 / 3月26日(水)~3月30日(日)
メッセージ: 平岡修治 ●ゲスト: Duo B→Z
- ④ 九州地区 / 4月4日(金)~4月13日(日)
メッセージ: 平岡修治 ●ゲスト: 関真哉
- ⑤ 中部地区 / 5月21日(水)~5月25日(日)
メッセージ: 滝元順 ●ゲスト: 安武玄晃
- ⑥ 関西地区 / 6月8日(日)~6月15日(日)
メッセージ: 平岡修治 ●ゲスト: チェ・ヨンドウ
- ⑦ 東北地区 / 6月25日(水)~7月2日(水)
メッセージ: 田中進 ●ゲスト: 石塚誠孝
- ⑧ 北海道地区 / 7月4日(金)~7月13日(日)
メッセージ: 平岡修治 ●ゲスト: Asiah
- ⑨ 関東地区 / 7月23日(水)~7月27日(日)
メッセージ: 滝元順 ●ゲスト: Asiah
- ⑩ 関西地区 / 9月12日(金)~9月21日(日)
メッセージ: 田中進 ●ゲスト: 関真哉
- ⑪ 関東地区 / 10月1日(水)~10月5日(日)
メッセージ: 小山健 ●ゲスト: 安武玄晃
- ⑫ 沖縄地区 / 10月17日(金)~10月26日(日)
メッセージ: 平岡修治 ●ゲスト: 関真哉
- ⑬ 四国地区 / 11月5日(水)~11月9日(日)
メッセージ: 田中進 ●ゲスト: 中村匡
- ⑭ 中部地区 / 11月19日(水)~11月23日(日)
メッセージ: 平岡修治 ●ゲスト: Duo B→Z

・日程は変更になる場合もあります。
・日程が空いていても移動などの関係で希望日時に向えない場合もあります。
・上記の日程以外でも開催が可能なスケジュールもあります。

派遣
メッセージャー



イエスキリストを知らない方々に
福音を届けに行きます!

3月開催教会

北陸地区 講師/滝元順 ●音楽ゲスト/チェ・ヨンドウ

- 3月5日 [水] 19:30 金沢独立キリスト教会 (石川)
- 3月6日 [木] 19:00 松任キリスト教会 (石川)
- 3月7日 [金] 19:00 羽咋聖書教会 (石川)
- 3月8日 [土] 14:00 金沢グレイスチャペル (石川)
- 3月9日 [日] 10:30 福井自由キリスト教会 (福井)
- 3月9日 [日] 15:00 武生自由キリスト教会 (福井)

甲信越地区 講師/平岡修治 ●音楽ゲスト/Duo B→Z

- 3月26日 [水] 19:00 甲府キリスト教会 (山梨)
- 3月27日 [木] 14:00 軽井沢ペヌエルチャーチ (長野)
- 3月28日 [金] 14:00 駒ヶ根アルプスシオン教会 (長野)
- 3月29日 [土] 時間調整中 南信州フォレストチャーチ (長野)
- 3月30日 [日] 10:15 飯田入舟教会 (長野)
- 3月30日 [日] 19:00 飯田知久町教会 (長野)

4月開催教会

九州地区 講師/平岡修治 ●音楽ゲスト/関真哉

- 4月4日 [金] 時間調整中 大牟田バプテスト教会 (福岡)
- 4月5日 [土] 時間調整中 北九州福音センター (福岡)
- 4月6日 [日] 10:30 福岡聖書キリスト教会 (福岡)
- 4月6日 [日] 18:00 福岡新生キリスト教会 (福岡)
- 4月8日 [火] 時間調整中 ライトハウスチャーチ福岡 (福岡)
- 4月9日 [水] 19:30 古賀バプテスト教会 (福岡)
- 4月10日 [木] 10:30 人吉キリスト教会 (熊本)
- 4月11日 [金] 時間調整中 高森キリスト教会 (熊本)
- 4月12日 [土] 13:00 シャロンキリスト教会 (熊本)
- 4月13日 [日] 10:30 愛宕キリスト教会 (宮崎)
- 4月13日 [日] 14:30 イエスキリスト延岡教会 (宮崎)

Goto ミッション 2025 が 2 月 より スタート しました。
是非、開催教会、地域を覚えてお祈りください。またその地域にお住まいの親族ご友人をお誘いくださり集会にもご参加ください。今が救いの時です。また開催教会も絶賛募集中ですのでお問い合わせください!

Acoustic Night

アコースティック
ナイト

in hamamatsu
浜松

入場無料



開催場所

浜松市天竜壬生ホール

＜静岡県浜松市天竜区二俣町二俣20-2＞

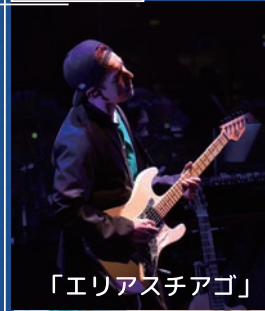
開催日時

2025/3/20 (木・祝)

OPEN 17:30

START 18:00

music guest



「エリアスチアゴ」



「Kenta Dedachi」

messenger



「田中進」

Access

▼ 公共交通機関でお越しの方

遠州鉄道「新浜松」駅より終点「西鹿島」駅下車。
遠州鉄道バス「二俣・山東行き」で「城下通」下車、徒歩約10分。
天竜浜名湖鉄道「天竜二俣」駅より徒歩約8分。

▼ 車でお越しの方

新東名高速道路「浜松・浜北IC」より天竜・飛龍大橋方面、
国道152号を約2.6km北上。
「飛龍大橋北」交差点を左折し、県道40号線へ入り約850m西進。
コンビニ手前の交差点を南下、130m先の交差点を右折。
(総距離約4.1km、約10分。)

3月は伝道集会コンサート！なんと入場無料で開催いたします！ぜひ会場へお集まり下さい！！
また多くの収穫の時になるようお祈りください。(配信もありますが、アーカイブは限定一週間のみの公開となります)

◆出演者プロフィール



エリアス・チアゴ●Elias Thiago

ブラジル生まれ、日本育ち、12歳からギターを始め、13歳のときにバンド「Levi」を結成。18歳で甲陽音楽院に入学し、在学中にシンガーソングライター愛笑むと出会い、メンバーとして音楽活動を開始する。2017年に上京し、その後サポートミュージシャンとして、様々なアーティストのライブ、セッション、レコーディングに参加。

代表的な参加アーティスト

imase、Little Glee Monster、Kenta Dedachi、三浦大知、宮田悟志、ソナーポケット、Tani yuuki ほか



出立慥太●Kenta Dedachi

シンガーソングライター Kenta。牧師家庭に生まれ、幼少期からギターを始め、12歳から教会で賛美奉仕を行い、14歳からYouTubeにカバー動画を投稿。18歳で渡米し、アメリカの大学で音楽を学びながら、2018年にオフィス・オーガスタからインディーズデビュー。2020年4月にはメジャーデビューを果たし、映画主題歌やCM曲、他アーティストへの楽曲提供など活動の幅を広げている。現在は独立し、日本とアメリカの音楽シーンで活躍中。メロディアスな楽曲と伸びやかな歌声が特徴で、YouTubeチャンネルでは音楽制作の過程やライブ映像も公開している。

◆会場●浜松市天竜壬生ホール



公共交通機関でお越しの場合

遠州鉄道「新浜松」駅より終点「西鹿島」駅下車。遠州鉄道バス「二俣・山東行き」で「城下通」下車、徒歩約10分。天竜浜名湖鉄道「天竜二俣」駅より徒歩約8分。

お車でお越しの場合

新東名高速道路「浜松・浜北IC」より4.1km、約10分。

●駐車場 147台あり

Pray for ●●●

今年は3月20日が「春分の日」です。昼と夜の長さが等しくなる日、国民の祝日の一つだけではない意味のある日です。その日をどのように祈る必要があるのか、SIRの瀧元望氏に伺いました。

春を造られた創造主をほめたたえよう！

長く厳しい冬が終わり、春が来ようとしています。
今年の冬は「暖冬」という予報に反して、何度も大寒波が全国を襲い、特に北陸地方や東北地方では豪雪となり、なおのこと春が待ち望まれています。

春といえば、「春分の日」です。昼と夜の時間が全く同じ時間となるこの日から夏に向けて日が長くなっていきます。一方で、この日を中心とした7日間は「彼岸」と呼ばれ、多くの人々が寺や墓参りに訪れ、祖先崇拝が繰り返される特別な週といえます。「春が来た」と浮かれてはられない暗闇の淵にある日であることも忘れてはなりません。

「彼岸行事」の起源を考えてみましょう。「806年3月に、平城天皇が崇道天皇（早良親王）の怨霊を鎮めるために、全国の国分寺の僧侶に春と秋に（春分、秋分の日）に7日間「金剛般若経」を読むように命じた」ことがその起源だといえます。早良親王は、天皇の後継者争いであって濡れ衣を着せられ、絶食して死にました。彼の死後、天皇家に奇怪な出来事が多発し、その怨霊に怯え、始められたのが「彼岸会（ひがんえ）」なのです。

平安時代に始まった「彼岸会」は、現在も天皇家にあって受け継がれ、春分、秋分の日、宮中で天皇が歴代の天皇が祀られている皇霊殿の前で、皇霊祭を行っています。そして、この宮中祭祀には、首相をはじめ閣僚、三権の長に招待状が届き、その祭祀に参列しているのです。何と、年中行事となっている「彼岸行事」の中心に天皇が関わり、国家的な祖先崇拝の暗闇が招かれ続けていることをしっかり知って、イエス様の十字架の勝利を掲げ、とりなししていく必要があります。

日本をはじめアジアの他諸国で、福音宣教を阻む大きな壁として、「祖先崇拝」があります。祖先を神々として拝む祖先崇拝は、実は仏教の中にはなく、儒教からの影響によって受け継がれています。この国では、仏教＝祖先崇拝と受け入れられていますが、厳密には祖先崇拝を容認する仏教は、ある意味で「異端」なのです。

ミャンマーの激戦地にとりなしに向かった事がありますが、ミャンマーの厳格な仏教徒は、慰霊団が行う祖先崇拝を軽蔑して見ていると聞きました。

もう一度言いますが、この国の「祖先崇拝」の中心に天皇が存在し、「春分の日」「秋分の日」に宮中で皇霊祭を行い、そこに首相や閣僚、三権の長などが関わり、一般民衆が行う、墓参りなどの「彼岸行事」に霊的な力を注いでいることを知り、しっかりとりなししていく必要があります。そして、その源には「怨霊」に怯える「恐れ」があるのです。

「そういうわけで、子たちがみな血と肉を持っているので、イエスもまた同じように、それらのものをお持ちになりました。それは、死の力を持つ者、すなわち、悪魔をご自分の死によって滅ぼし、死の恐怖によって一生涯奴隷としてつながれていた人々を解放するためでした。」

ヘブル人への手紙 2章 14～15節

イエス様の十字架の勝利は、悪魔の力を打ち砕き、「死」の恐怖によって一生涯奴隷となっている日本の人々を解放して下さる力です。この十字架の福音をまっすぐ宣べ伝え続けましょう。

霊的な春がこの国にやって来ることを待ち望み、この季節も主にあってとりなし続けましょう。



瀧元望

SIR ネットワーク代表

今回は2月の蒙韓日合同リバイバル聖会にも来日くださいました、キム・ガンホ先生にお話しを伺いました。



韓国・命の木主任牧師

キム・ガンホ牧師

김광호/생명나무교회 담임

●先生は北朝鮮から韓国へ脱出されましたが、その経緯についてお話しを伺えるでしょうか。

私の両親は中国で生まれ育った朝鮮族出身でした。中国系の朝鮮人は北朝鮮では受け入れられません。ですから、私達のような者たちは、統制が強かったり、苦しめられたり、窮地に立たせられたりしました。私は、1992年18歳のときに1回目の脱北をしましたが、中国で見つかり捕まって北朝鮮に送還されました。しかし1997年23歳の時に2回目の脱北をしたのです。この時、母親と姉と甥と一緒に脱北を試みましたが、姉だけが捕まってしまい、収容所に連れて行かれ、母親と甥と私だけが脱北できたのです。北朝鮮では、インターネット、テレビ、ラジオと全てが統制されていたので、中国に来てから初めて北朝鮮がしていることが悪いことであることを知りました。そして中国で10年間過ごし、33歳の時に韓国にきました。

●先生はイエス様とはどのように出会ったのでしょうか。またイエス様を受け入れることは容易だったのでしょうか。

私は中国で、脱北された方を助けている中国の朝鮮族の牧師先生を通してイエス様のことを聞きました。北朝鮮の人々は金日成を崇拝していますが、それ以外にも心の拠り所を求めているので、イエス様の話を聞いて信じることは難しくはありませんでした。しかし信仰生活の中で神様には力がない、と思った時期がありました。元々韓国に渡るつもりで脱北を考えていたのですが、姉が北朝鮮に捕まったこともあり、中国で10年の間、姉を待っていました。

その時、日本の宣教師の方々に日本と一緒にいこうとも誘われましたが、姉を待っていたので行くことができませんでした。しかし姉がもう北朝鮮から出てこれないことが分かり、韓国に行くことを決めました。2007年韓国に行ってから、神様との関係が濃く密接に深いものになりました。その後、イエス弟子訓練を受け、2009年日本の大阪、北海道へアウトリーチに来て、そこで滝元明先生と出会いました。

●先生がイエス様から頂いたこれからのビジョンについて伺えますか。

私の現在の働きは、次世代の働きです。それは、脱北者の子どもたちにとって、イエス様にあって日本、中国、ロシア、東南アジア国々の子どもたちと友達となり、ひとつになっていくことです。日本の朝鮮総連の子どもや脱北者の子どもたちには、大きな痛みがあり、またロシアにいる朝鮮人（高麗人）の人たちにも痛みがあります。こういう子どもたちが1つに集まって互いに痛みを分かち合うことによって癒され友達となり、彼らが大人になったとき、何をしようと、どんな立場になろうとも、友達として助け合うことができます。またこの子どもたちが、小さい時から大学を卒業して社会で働くようになるまで、その場所に定着して、安定して、安心して生活ができるようになります。グローバルな世界の中で、この子どもたちが友達となり、力を合わせていくために、私たちは仕えています。キリストにあって友となりひとつとなって北朝鮮の子どもたちがイエス様の御名を叫ぶ時、そこにある強固な壁が崩され、そして南北の統一がなされることを信じています。



レポート

蒙韓日合同リバイバル聖会

2025.Feb.11-14@愛知県民の森

蒙韓日（モンゴル・韓国・日本）合同リバイバル聖会が、愛知県民の森で開催されました。韓国からイ・ビョンチョル先生はじめ 98 名、モンゴルからムフ・ジョシュア先生のほか 6 名、日本各地からも多数の参加者があり、脱北者の牧師先生も参加されました。3 日間の各夜に、コリアナイト、モンゴルナイト、ジャパンナイトと称して、各国の講師からメッセージが語られました。今の各国の教会の活動、リバイバルに向けての神様の御計画を知ることができ、特に侵略や闘争の中で、お互いを傷つけ苦しめた歴史を共有して、心を合せ悔い改め、許し合う祈りがささげられました。霊的戦いセミナーでは、瀧元望氏から日本の中にある偶像礼拝を続けている歴史が生み出した闇の力、今もなお福音伝道にクリスチャンの活動に影響を与えようと動いているサタン働きを学び、それらに対して正しい対応をする必要を知ることが出来ました。また瀧元順師からリバイバルを求め、全世代が、あきらめないで真剣に祈り続けることをチャレンジされました。

3 日目の午前中は、各国の現状が報告され、それぞれの国のため、世界宣教のための祈りがささげられました。午後には、県民の森の中にある「芝生広場」に出て、皆でリバイバルを求めて賛美し、祈ることができました。33 年前に、この場所で聖霊の油注ぎを体験した人たちを含め、初めてこの地で祈る多くの人が、主が今もなお祈りに応えてくださるといふ事を確信する時となりました。この「芝生広場」の祈りは夜の集会后、深夜まで続けられました。



参加者の声

初めて愛知県民の森で開かれた聖会に参加しました。50 年前の教職ゼミナール時代からの祈りと賛美が積まれた場所に相応しく、天が近く、祈りと賛美に手ごたえを感じて熱く燃やされる聖会でした。個人的に今回の聖会で受けたメッセージは、一言で言うと「拡大と繋がり」の祝福」というもの。蒙韓日からの参加者だけでなく、脱北した兄姉やパプア・ニューギニアの兄弟の参加等、国境の壁を越え、また何度も導かれた次世代への祝福の祈り等、世代間の壁も越えて繋がり、福音と聖霊の油注ぎの拡大がなされたと信じます。また、今日のリバイバルミッションと故瀧元明師の生誕地で起きたリバイバルとの歴史的繋がりも語られ、そこに神による不思議な時代を超えた拡大と繋がりを見ることができました。圧巻は 3 日目の夜の集会で行なわれた預言的三段重ねの祈り。文字通り 3 カ国・3 世代が輪になって重なり、互いの祝福のために祈れたことは大きな祝福でした。主に感謝！

金子辰己雄牧師（サンライズ杉戸教会／いのちの木キリスト教会）

参加者の声

日本に行くために祈って準備している時、主がくださった思いがありました。私はこれまで経済的に難しい国だけが主の言われる全世界だと思い込んでいたようです。しかし豊かな先進国の国々こそ神に返ることが本当に難しいのではないかと考えられました。そして主は先進国に対する宣教の思いを与えてくださいました。私はそのような思いを持って日本へ行き、集会に参加しました。

ある集会の時に円になって、モンゴルが韓国を、韓国が日本を、祝福して祈り世界宣教に押し出していく三重の祈りがなされました。この祈りの時間を通して、先進国が福音によって変えられ、日本がアジア宣教の先頭ランナーになるという思いが私の確信となりました。

春川チームが飛行機チケットの問題により、初日日本に行くことができず皆で祈っていた時に「紅海が分かれたから前進したのではなく、イスラエルの民が前進した時、紅海が分かれた」という思いが与えられました。また最後の集会でも「起きて歩け」と語られました。日本のリバイバルが塞がれているように見えたとしても、私たちが先に起きて歩く時、紅海が分かれるように驚くべきことが日本に起こっていくと信じます。

韓国・春川主香教会 ホンヘジ

真面目で忍耐深い日本の方々の性格は知っていましたが、数十年の間、ただただ国のリバイバルのために一筋に歩んで来られたことは、神様を感動させたはずです。そして今日のこの奇跡を成し遂げたのです！元々敵対関係だった三国が隔ての壁を壊して、主によって一つにされたことは、実に御言葉がそのまま成就されたことでした。十字架で敵意を葬り去ってくださったイエス様の愛と、日本の聖徒たちの従順に感謝を申し上げます。確かに神様は新しいことを始められました！日本で始まったリバイバルが韓国、モンゴル、中国を超えて世界に進みます。このリバイバルの波に乗って、いつか近いうちに、



平壤リバイバルミッション、そしてエルサレムリバイバルミッションに繋がって行くことを切に祈ります。

夜明けの四時から集まって食事の準備をしてくださった聖徒の皆さん、担当した場所で最善を尽くして仕えてくださったミッションチームのスタッフの皆さん、牧師先生方、賛美チーム、通訳チーム、そして遠い国からこのリバイバル集会を期待して参加して下さったモンゴルの牧師先生方、苦難を乗り越えて遙かに長い道のりを来られた春川チーム、幼い赤ちゃんを抱いて集会に参加してくれた若者たち、学校を休んで言葉が通じない子どもたちと一緒に走り回って遊んでくれた日本の子どもたち、世代を超えて働く神様の情熱に感動が溢れました。2025年2月に県民の森で行われた天国の宴は一生忘れないでしょう。この働きを始められ多くの労苦をされ、今は天国で祈り応援してくださっている尊い牧師先生方や聖徒たちにも感謝いたします。この働きを始められ成し遂げられ、ついに天の栄光で完成される神様に、言い尽くせない感謝と賛美をおさげいたします。ハレルヤ!!

聖会全体を主への礼拝に導いたのは、各国のこぼでの会衆賛美でした。ジャパンナイトの中では、サクソ奏者の安武玄晃さんらの賛美がささげられ、主の臨在に包まれました。この聖会で特徴的だったことは、次世代のための熱い祈りが繰返しささげられたことでした。参加者の約1/4を占める、ティーンエイジャー、20代の若者を囲み、これからの時代、彼らが主に用いられ、世界に神の御国が拡がり建てあげられることを祈りました。そして彼らを支える世代のはたらきのためにも祈りました。モンゴルから来られたムンフ先生らは、早めに来日され能登を含め日本各地を巡り、とりなしの祈りをささげて下さいました。韓国からのメンバーは予期せぬ航空券のトラブルにあいましたが、怯むことなく、笑顔で参加されその姿に励まされました。過去の罪を謝罪し、許し合い、愛し合うことを実践した恵みの聖会になったことを感謝いたします。 韓国・ムンヘイン宣教師



Zoom de フェロシップ

どの Zoom も参加は無料です。事前にお申し込みいただくとメールにてID パスコードをお知らせいたします。毎回でなくても参加出来ます！

ワカモノトークルーム

3月3日 [月] 20:00~

◎MC / 杉浦美紀、瀧元榮主、田中咲
◎アドバイザー / 平岡新人

韓国語

3月11日 [火] 20:00~

◎講師 / チェ・ヨンドウ

神学校OB

3月25日 [火] 20:00~

◎司会進行 / 田中進、平岡新人

ブッククラブ

3月27日 [木] 20:00~

◎司会進行 / 平岡新人

Zoom de 祈禱会

3月17日 [月] 20:00~

全国の皆さんと共に直近開催の Goto ミッションはじめ、参加者、参加教会の祈りの課題を出し合っていただき、共に祈る時間です。皆さんのご参加をお待ちしています！



霊的戦い、専門課程 第13期

第13期 Vol.6 ハイブリッド開催

3月24日 [月] - 25日 [火]

講師 / 滝元順、鈴木陽介、ほか

受講料 / 8,800円 [1回10セッション]

◎年間受講料 / 79,200円: 10回100セッション

※配信は13期終了2025年9月末まで視聴可能

ハイブリッド開催時は愛知県新城市のリバイバルミッションセンターで 対面で受講できます。

宿泊・食事代(1泊2食・朝軽食付)5,500円 / 1回

※会場での受講者も配信を視聴することができます。

※vol.5 は 3月10日、vol.6 は 4月7日配信開始予定です。

お得な年間受講をお薦めします!!

スケジュール

3月24日 [月]

13:30~受付

14:00~15:30セッション①②

15:40~17:10セッション③④

17:30~夕食

19:00~20:30研究発表・交わり

3月25日 [火]

9:00~10:30セッション⑤⑥

10:40~12:10セッション⑦⑧

12:10~昼食

13:00~14:30セッション⑨⑩

Pray for Revival

3/13

YouTube 配信

木 10:00~



証 / 蓮池光世



証 / 米谷ジョー愛



特別賛美 / 石塚和基

祈りの課題がある方は

下記のメールアドレスまでお送りください。集会の祈りの中で、共有して祈りますのでなるべく短く簡潔にお書きください。匿名イニシャルの投稿でも結構です。

revivalmission.pray@gmail.com

主を賛美いたします。リバイバルミッションのために、いつも祈り、献金をもってご支援くださっていることを心から感謝いたします。12月の会計報告ですが、クリスマスの時期で、多くの特別献金をささげてくださり、12月だけの収支をみるとプラス100万円ほどになっています。皆さまの心からの捧げ物を感謝します。ただ、既にご報告しています先月はじめプラスばかりの月ではないので、まだまだ、現時的には厳しい状態が続いています。Go to ミッションもスタートしましたが、ご存知のように、様々な値上げは、経費全体を高ましています。是非覚えてお祈りくださり、今後とも継続的なご支援いただきますようお願い致します。

◎献金送付先.....
三菱UFJ銀行 / 名古屋営業部 普通 2569313
ゆうちょ銀行 / 振替口座 00860-0-33814
クレジットカードによる献金 <http://j-revival.com/rm/card/>



◎会計報告2024年12月

収入		支出	
一般献金	3,027,365	事務運営管理費	1,252,764
集会献金・参加費	0	一般旅費交通費	22,515
国内宣教指定・集会献金	668,136	通信費	162,542
世界宣教指定・集会献金	12,500	印刷費	140,096
霊的戦いセミナー・献金・参加費	154,112	国内宣教諸経費	800,872
		霊的戦いセミナー諸経費	157,999
		集会諸経費	0
		世界宣教諸経費	0
		銀行借入返済	350,607
収入合計	3,862,113	支出合計	2,887,395
		1ヶ月間差額(12月)	974,718

クレジットカードでも献金出来ます。



フリーダイヤル ☎0120-291-372
〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220
☒office@j-revival.com
ホームページ <http://www.j-revival.com>

※次回ニュースPlus4月号 (vol.9) は 3月23日 (日) 発行予定です。



リバイバルミッション情報
祈りのLINE登録してお祈りください!



リバイバルミッションのホットな情報と祈りのリクエスト、集会の様子などを配信します!
◎友達登録方法...「友達追加」からQRコードリーダーにてQRコードを読み込んで登録



それぞれフォロー、登録して下さい。

Facebook, Instagram, X, YouTubeのアカウントがあります。